

平成 21 年度教室業績医学部眼科学教室

I. 口演

1. 岡田アナベルあやめ：加齢黄斑変性治療薬ルセンチスの期待. 八王子, 東京. 平成 21 年 4 月 1 日.
2. 慶野博：杏林アイセンターにおける最近のぶどう膜炎の動向 教育口演. 第 51 回多摩眼科集談会, 三鷹, 平成 21 年 4 月 4 日.
3. 稲見達也, 栗原崇, 吉野啓：塩酸ドルゾラミドの併用薬としての臨床評価. 第 51 回多摩眼科集談会, 三鷹, 平成 21 年 4 月 4 日.
4. 宮澤頭子, 井上真, 平形明人：黄斑円孔の外来硝子体手術. 第 51 回東京多摩地区眼科集談会, 東京, 平成 21 年 4 月 4 日.
5. Inoue M, Yoshino M, Bissen-Miyajima H. Wavy Artifacts in Line Scanning Image of Optical Coherence Tomography by Multifocal Diffractive Intraocular Lens. San Francisco, USA, ASCRS, Apr, 3-7, 2009.
6. Konno K: Clinical Performance of No Suture Phakic IOL surgery. San Francisco, USA, ASCRS, Apr, 3-7, 2009.
7. 井上真, 五月女典久, 平岡智之, 三木大二郎, 平形明人：乳頭小窩を伴わない網膜分離症への硝子体手術. 第 113 回日本眼科学会総会, 東京, 平成 21 年 4 月 16-19 日.
8. 平形明人：網膜剥離. 第 113 回日本眼科学会総会, 東京, 平成 21 年 4 月 16-19 日.
9. 慶野博：前房を介した末梢性免疫寛容の分子機構 シンポジウム 13 眼免疫調節機構の不思議. 第 113 回日本眼科学会総会, 東京, 平成 21 年 4 月 16-19 日.
10. 山本亜希子, 杉谷篤彦, 田中伸茂, 谷内修太郎, 岡田アナベルあやめ：網膜色素上皮剥離を伴う滲出型 AMD に対する bevacizumab 硝子体内投与. 第 113 回日本眼科学会総会, 東京, 平成 21 年 4 月 16-19 日.
11. 永本敏之：白内障手術教育を考える (特別講演). ベータの会, 横浜, 平成 21 年 5 月 15 日.

12. 井上真：小切開硝子体手術の適応と限界．岩手医科大学勉強，盛岡，平成 21 年 5 月 18 日．
13. Taniuchi S, Miyazawa A, Inoue M, Hirakata A: Intraoperative and postoperative complications after micro-incision vitrectomy surgery for proliferative diabetic retinopathy. APAO-AAO Joint Meeting 2009 Bali, Indonesia, May,15-17,2009.
14. Yamamoto A, Miyazawa A, Taniuchi S, Inoue M, Hirakata A: Vitreous hemorrhage after conservative treatment for retinoblastoma. APAO-AAO Joint Meeting 2009 Bali, Indonesia, May,15-17,2009.
15. Inoue M, Taniuchi S, Yamamoto A, Hirakata A. 23-gauge Cannula System with Microvitoretinal Blade Trocar. APAO-AAO Joint Meeting 2009 Bali, Indonesia, May,15-17,2009.
16. 平形明人：網膜剥離の症状・予防・治療．第 17 回房総眼科フォーラム，鴨川，平成 21 年 5 月 30 日．
17. Watanabe T, Keino H, Nakajima C, Taki W, Okada AA. Evaluation of the quantiferon-TB Gold assay in the diagnosis of ocular tuberculosis. 10th International Ocular Inflammation Society Congress, Prague, May 30-June 3, 2009.
18. Okada AA: What is new in Behcet's disease. 10th International Ocular Inflammation Society Congress. Prague, May 30-June 3, 2009.
19. 岡田アナベルあやめ：ベーチェット病におけるレミケード治療．仙台，平成 21 年 6 月 1 日．
20. 井上真：眼底検査でわかる眼疾患．東京都眼科技師講習会，東京，平成 21 年 6 月 5 日．
21. 永本敏之：難症例の白内障手術－ケーススタディ（特別講演）．府中市医師会眼科部会 学術勉強会，東京，平成 21 年 6 月 6 日．
22. 平形明人：高齢者に多い目の病気．杏林大学公開講演会，三鷹，平成 21 年 6 月 27 日．
23. 渡辺交世，中野敦雄，並木泉，慶野博，岡田アナベルあやめ，永本敏之：ぶどう膜炎 症例の白内障手術．第 24 回日本眼内レンズ屈折手術学会，東京，平成 21 年 6 月 26-28 日．

24. 中野敦雄, 渡辺交世, 並木泉, 永本敏之: 先天白内障に対する IOL の成績. 第 24 回日本眼内レンズ屈折手術学会, 東京, 平成 21 年 6 月 26-28 日.
25. 永本敏之: 一か月以上で可能な限り挿入 (シンポジウム「小児 IOL の適応~あなたは何歳から小児に IOL を挿入しますか?」). 第 48 回日本白内障学会・第 24 回日本眼内レンズ屈折手術学会・第 45 回日本眼光学学会. 22<sup>nd</sup> APACRS Annual Meeting, 東京, 平成 21 年 6 月 26-28 日.
26. 永本敏之: 合併症における使い分け (シンポジウム「デバイスを極めるー①OVD の使い分け」). 第 48 回日本白内障学会・第 24 回日本眼内レンズ屈折手術学会・第 45 回日本眼光学学会. 22<sup>nd</sup> APACRS Annual Meeting, 東京, 平成 21 年 6 月 26-28 日.
27. 今野公士: 多焦点眼内レンズにおける追加 LASIK の有用性. 第 24 回日本眼内レンズ屈折手術学会, 東京, 平成 21 年 6 月 26-28 日.
28. Nakano A, Okada AA & Nagamoto T: Torsional oscillation by OZIL system cuts the lens capsule in pig eyes. 22<sup>nd</sup> Meeting of the Asia-Pacific Association of Cataract and Refractive Surgeons, Tokyo, Jun. 26-28, 2009.
29. 井上真: 合併症とその対策. 硝子体手術セミナー. 東京, 平成 21 年 6 月 28 日.
30. 横田怜二, 横山恭典, 堀田順子, 堀田一樹: 水晶体・硝子体同時手術後の計画的眼内レンズ二次挿入嚢内固定での術後屈折誤差. 第 24 回日本眼内レンズ屈折手術学会, 東京, 平成 21 年 6 月 26-28 日.
31. 井上真: 乳頭ピット黄斑症候群にける赤外光と自発蛍光の意義. 第 5 回信濃町網膜研究会, 東京, 平成 21 年 7 月 3 日.
32. 井上真: 屈折矯正手術後の後眼部合併症. 第 2 回樋田メモリアル網膜ラウンジ, 東京, 平成 21 年 7 月 4 日.
33. 平岡智之: 網膜硝子体. 都内大学眼科レジデント講習会, 東京, 平成 21 年 7 月 4 日.
34. 平形明人: 強度近視眼の牽引性黄斑症に対する硝子体手術. 第 22 回埼玉県眼科手術談話会, さいたま, 平成 21 年 7 月 5 日.

35. 慶野博：強膜炎のアップデート シンポジウム 強膜炎の薬物療法. 第 43 回日本眼炎症学会, 大阪, 平成 21 年 7 月 10 日-12 日.
36. 瀧和歌子, 慶野博, 渡辺交世, 中島史絵, 早川るり子, 岡田アナベルあやめ：補助診断としてクオンティフェロン TB-2G (QFT-2G) 検査が有用であった結核性強膜炎の 3 例. 第 43 回日本眼炎症学会, 大阪, 平成 21 年 7 月 10 日-12 日.
37. 岡田アナベルあやめ：結核性ぶどう膜炎における QuantiFERON-TB Gold 検査の診断能力. Japan Macula Club, 蒲郡, 平成 21 年 8 月 22-23 日.
38. Okada AA: Biologic agents in refractory Behcet's disease. Chinese-Japanese Joint Symposium on the Treatment of Uveitis, 14th Annual Meeting of the Chinese Ophthalmic Society. Chongqing, Aug. 28, 2009.
39. 渡辺敏樹, 藤森重人, 気賀沢一輝, 平形明人：レーベル病の高齢女性に発症した抗アクアポリン 4 抗体陽性視神経炎の 1 例. 第 25 回真鶴セミナー, 厚木, 平成 21 年 8 月 29 日.
40. 井上真：黄斑円孔の外来硝子体手術. 第 13 回 Tokyo Retina Club, 東京, 平成 21 年 9 月 5 日.
41. 平形明人：強度近視眼の牽引性黄斑症. 第 222 回鹿児島眼科集談会, 鹿児島, 平成 21 年 9 月 12 日.
42. 岡田アナベルあやめ：眼炎症疾患：最近のトピックより. 富山眼科集談会, 富山, 平成 21 年 9 月 12 日.
43. 永本敏之：最近の白内障手術の傾向（特別講演）, Infinite Power Up Seminar, 札幌, 平成 21 年 9 月 19 日.
44. 井上真：Single step incision for MIVS to avoid hypotony and endophthalmitis. Advanced Vitreous Surgery Course, 東京, 平成 21 年 9 月 23 日.
45. Inoue M, Kunita D, Murai H, Hirakata A. : Surgical outcomes for foveal detachment and retinoschisis without optic disc pit or high myopia. The 27th American Society of Retina Specialist, New York, USA Sep,30-Oct4,2009.

46. 小林泉<sup>1</sup>, 工藤かな<sup>1</sup>, 廣田和成<sup>1</sup>, 今野公士<sup>1</sup>, 永本敏之<sup>1</sup>, 平形明人<sup>1</sup>, 満山陽子<sup>2</sup>, 平原和久<sup>2</sup>, 多久嶋亮彦<sup>3</sup> ( <sup>1</sup>杏林大・眼科, <sup>2</sup>杏林大・皮膚科, <sup>3</sup>杏林大・形成外科 ): 灯油皮膚炎の1例. 第52回多摩眼科集談会, 三鷹, 平成21年10月3日.
47. 小林泉, 中野敦雄, 渡辺交世, 松木奈央子, 並木泉, 永本敏之: 水晶体囊拡張リングの適応と長期予後. 第63回日本臨床眼科学会, 福岡, 平成21年10月9-12日.
48. 中野敦雄, 渡辺交世, 松木奈央子, 並木泉, 永本敏之: 白内障囊外摘出術 (ECCE) ウエットラボの試みとその有用性. 第63回日本臨床眼科学会, 福岡, 平成21年10月9-12日.
49. 永本敏之: 術前・術後点眼、術中灌流液、術後眼鏡処方 (モーニングクルズス「白内障手術ー術前検査から術後管理まで」). 第63回日本臨床眼科学会, 福岡, 平成21年10月9-12日.
50. 永本敏之: 小児 IOL 手術の安全性と教育について (インストラクションコース「小児眼内レンズの安全性を求めてーより良い成果を得るために」). 第63回日本臨床眼科学会, 福岡, 平成21年10月9-12日.
51. 永本敏之: 後極白内障 (インストラクションコース「難症例の白内障手術」). 第63回日本臨床眼科学会, 福岡, 平成21年10月9-12日.
52. 井上 真: マルチフォーカル IOL 挿入眼の眼底検査と硝子体手術. インストラクションコース. 「屈折・調節をマスターしよう」～マルチフォーカル IOL の検査～. 第63回日本臨床眼科学会, 福岡, 平成21年10月9-12日.
53. 井上真: シンポジウム. マイクロサージェリーにおける観察系の進歩“見えるが勝ち”ー硝子体手術の眼視認性ー. 第63回日本臨床眼科学会, 福岡, 平成21年10月9-12日.
54. 渡辺交世, 慶野博, 中島史絵, 瀧和歌子, 岡田アナベルあやめ: 結核性眼疾患の診断における QuantiFERON TB-2G の有用性の検討. 第63回日本臨床眼科学会, 福岡, 平成21年10月9日-12日.
55. 中島史絵, 慶野博, 渡辺交世, 瀧和歌子, 岡田アナベルあやめ: 杏林アイセンターにおける小児および若年者のぶどう膜炎の統計. 第63回日本臨床眼科学会, 福岡, 平成21年10月9日-12日.

56. 慶野博, 渡辺交世, 中島史絵, 瀧和歌子, 岡田アナベルあやめ: ベーチェット病に対するインフリキシマブ長期投与の有効性の検討. 第 63 回日本臨床眼科学会, 福岡, 平成 21 年 10 月 9 日-12 日.
57. 鈴木由美, 浜由起子, 井上真, 平形明人, 富田香<sup>1</sup> (<sup>1</sup>平和眼科): Down 症候群の睫毛内反に対する睫毛列切除術の有用性. 第 63 回日本臨床眼科学会, 福岡, 平成 21 年 10 月 9-12 日.
58. 中山真紀子, 平形明人, 平岡智之, 谷内修太郎, 井上真: 強度近視に伴う円孔併発型牽引性黄斑分離症の手術成績. 第 63 回日本臨床眼科学会, 福岡, 平成 21 年 10 月 9-12 日.
59. 臼井嘉彦<sup>1</sup>, 後藤浩<sup>1</sup>, 平形明人, 井上真, 泉美貴<sup>2</sup> (<sup>1</sup>東京医大・眼科, <sup>2</sup>東京医大・病理診断): 毛様体に発生した中外胚葉性平滑筋腫の 1 例. 第 63 回日本臨床眼科学会, 福岡, 平成 21 年 10 月 9-12 日.
60. 横田怜二, 山添克弥, 井上亮, 鎗田理沙, 江本宜暢, 横山恭典, 堀田順子, 堀田一樹: 網膜色素上皮層を原発とする水痘・帯状疱疹ウイルス網膜炎. 第 63 回日本臨床眼科学会, 福岡, 平成 21 年 10 月 9-12 日.
61. 飯田知弘<sup>1</sup>, 眼科 PDT 研究会<sup>2</sup> (<sup>1</sup>福島県医大・眼科, <sup>2</sup>眼科 PDT 研究会): ポリープ状脈絡膜血管症に対する光線力学療法の前向き多施設共同研究. 第 63 回日本臨床眼科学会, 福岡, 平成 21 年 10 月 9-12 日.
62. 平形明人: 糖尿病網膜症治療のアップデート. 第 6 回西東京糖尿病合併症予防フォーラム, 東京, 平成 21 年 10 月 14 日.
63. 井上真: 小切開硝子体手術について. 第 9 回順天堂大学医学部附属静岡病院勉強会, 平成 21 年 10 月 15 日.
64. 平形明人: 光干渉断層計で黄斑分離様変化を来たす疾患における硝子体手術手技の考察. 第 15 回大阪眼科手術シンポジウム, 大阪, 平成 21 年 10 月 17 日.
65. 井上真: 黄斑部疾患の手術療法と抗 VEGF 療法横須賀市眼科医会学術講演会. 横須賀, 平成 21 年 10 月 20 日.

66. 平形明人：OCT の見方．多摩眼科中央 OCT Meeting，東京，平成 21 年 10 月 21 日．
67. 永本敏之：手術教育を考える（特別講演）．徳島眼科医療フォーラム，徳島，平成 21 年 10 月 24 日．
68. 千嶋淳子，堀田一樹：白点状眼底様の網膜ドルーゼン（シンポジウム）．第 57 回日本臨床視覚電気生理学会，浦安，平成 21 年 10 月 30 日．
69. Inoue M：Hirakata A. Day surgery for macular hole. The 26th Congress of the Pan-pacific Surgical Association-Japan Chapter, Hong-Kong, China, Nov,1-2,2009.
70. 田中伸茂，平形明人：網膜変性症外来新設 — アイセンター構想実現への更なる一歩．第 11 回西東京眼科フォーラム，三鷹，平成 21 年 11 月 4 日．
71. 井之川宗右，工藤かんな，永本敏之：抗癌剤 TS-1<sup>®</sup> 内服により角膜上皮障害を生じた 3 例．第 11 回西東京眼科フォーラム，三鷹，平成 21 年 11 月 4 日．
72. 井之川宗右：杏林アイセンターにおける地域医療機関との病診連携．第 1 回多摩外眼病部疾患研究会，立川，平成 21 年 11 月 5 日．
73. Hirakata A, Taniuchi S & Inoue M: Recurrence after Vitrectomy for Traction Maculopathy Associated with High Myopia. The 4<sup>th</sup> Congress of the Asia-Pacific Vitreo-Retinal Society, Taiwan, Nov. 12-13, 2009.
74. 吉野啓，稲見達也，堀江大介，五月女典久：ダブルブロック縫合の無血管濾過胞抑制効果に関する検討．第 20 回日本緑内障学会，沖縄，平成 21 年 11 月 13 日．
75. 五月女典久，稲見達也，堀江大介，吉野啓：杏林アイセンターにおける隅角癒着解離術の検討．第 20 回日本緑内障学会，沖縄，平成 21 年 11 月 13-15 日．
76. 城下哲夫，渡辺交世，永本敏之：水晶体起因性緑内障の治療及び予後．第 20 回日本緑内障学会，沖縄，平成 21 年 11 月 13-15 日．
77. 渡辺交世，永本敏之：Wandering IOL による iris chafing syndrome の一例，第 20 回日本緑内障学会，沖縄，平成 21 年 11 月 13-15 日．

78. 慶野博, 新倉保<sup>1</sup>, Yumiko Wada<sup>2</sup>, 岡田アナベルあやめ(1 杏林大・医・実験動物施設、2 Synta Pharmaceuticals corporation, Boston, MA): Therapeutic effect of a potent IL-12/IL-23 inhibitor STA-5326 on experimental autoimmune uveoretinitis
79. 第 37 回日本臨床免疫学会, 東京, 平成 21 年 11 月 13 日-14 日.
80. 慶野博: シンポジウム 合成レチノイド Am80 を用いた自己免疫性ぶどう膜網膜炎の抑制 日本レチノイド研究会. 第 20 回学術集会, 東京, 平成 21 年 11 月 20 日-21 日.
81. 平形明人: 糖尿病網膜症治療の update. 第 41 回東京糖尿病治療セミナー, 東京, 平成 21 年 11 月 28 日.
82. 平形明人: 乳頭部先天異常に伴う網膜剥離. 第 48 回日本網膜硝子体学会総会, 名古屋, 平成 21 年 12 月 4-6 日.
83. 井上真: 最新の IOL 挿入眼での眼底観察「白内障手術進化論」その進化が網膜硝子体術者に与えるインパクトとは? NOW2009 ランチョンセミナー: 第 48 回日本網膜硝子体学会総会, 名古屋, 平成 22 年 12 月 4-6 日.
84. 井上真: 低侵襲で安全な硝子体手術を目指して. シンポジウム 4「硝子体手術はどこまで進化するか」. 第 48 回日本網膜硝子体学会総会, 名古屋, 平成 22 年 12 月 4-6 日.
85. 井上真: サージカルレチナ 手術の標準化「黄斑部手術」. レチナ塾: 第 48 回日本網膜硝子体学会総会, 名古屋, 平成 22 年 12 月 4-6 日.
86. 廣田和成, 中島史絵, 井上真, 平形明人: 多発性網膜色素上皮裂孔をともなう滲出性網膜剥離の治療経験. 第 48 回日本網膜硝子体学会総会, 名古屋, 平成 21 年 12 月 4-6 日.
87. 佐野公彦, 谷内修太郎, 井上真, 平形明人: ガス注入眼での OCT 画像の有用性. 第 48 回日本網膜硝子体学会総会, 名古屋, 平成 21 年 12 月 4-6 日.
88. 気賀沢一輝: 糖尿病網膜症への心療眼的アプローチ. 第 15 回日本糖尿病眼学会総会, 名古屋, 平成 21 年 12 月 4-6 日.
89. 平形明人: 強度近視性牽引性黄斑症の治療. 倉敷眼科臨床懇話会, 倉敷, 平成 21 年 12 月 10 日.

90. 井上真：OCTによる三次元眼底解析．立川病院学塾講演会，立川，平成21年12月10日．
91. 平形明人：糖尿病からの失明を回避するために．第23回東糖協多摩ブロック糖尿病教室，東京，平成21年12月12日．
92. 永本敏之：白内障手術教育を考える（特別講演）．第2回京浜地区眼科研究会，東京，平成21年12月16日．
93. 平形明人：硝子体手術の現況．第100回沖縄眼科集談会，沖縄，平成21年12月19日．
94. 平形明人：糖尿病網膜症から失明を予防するために．第12回海谷眼科忘年会，浜松，平成21年12月22日．
95. 井上真：黄斑円孔に対する外来硝子体手術．茨城県眼科医会学術講演会，水戸，平成22年1月17日．
96. 國田大輔，井上真，平形明人：強度近視眼に伴う網膜分離症・黄斑円孔網膜剥離に対する眼底自発蛍光所見の検討．第33回日本眼科手術学会総会，東京，平成22年1月22-24日．
97. 柿木雅志<sup>1</sup>，平形明人，大路正人<sup>1</sup>（<sup>1</sup>滋賀医大・眼科）：PEYMAN-WESSELS-LANDERSの新しいレンズホルダー．第33回日本眼科手術学会総会，東京，平成22年1月22-24日．
98. 平形明人：合併症の対策と処置．第33回日本眼科手術学会総会，東京，平成22年1月22-24日．
99. 井上真：インストラクションコース「経結膜小切開硝子体手術」第3回難症例「25G手術」．第33回日本眼科手術学会総会，東京，平成22年1月22-24日．
100. 井上真：教育セミナー．黄斑手術の基本手技「後部硝子体剥離の基本手技」第33回日本眼科手術学会総会，平成22年1月22-24日．
101. 井上真：トーリック眼内レンズの魅力に迫る．硝子体手術シミュレーション～トーリックと多焦点眼内レンズ～．イブニングセミナー．第33回日本眼科手術学会総会，東京，平成22年1月22-24日．

102. 井上真：ハイブリッドアクリル IOL のさらなる進化・あらたな貢献～着色モデル登場～参天製薬ランチョンセミナー．第 33 回日本眼科手術学会総会，東京，平成 22 年 1 月 22-24 日．
103. 永本敏之：眼内レンズ縫着術に必要な解剖と合併症を防ぐためのポイント（教育セミナー「眼内レンズ縫着術」）．第 33 回日本眼科手術学会総会，東京，平成 22 年 1 月 22-24 日．
104. 永本敏之：小児白内障（シンポジウム「白内障難症例に対する最新の手術手技」）．第 33 回日本眼科手術学会総会，東京，平成 22 年 1 月 22-24 日．
105. 中野敦雄，渡辺交世，並木泉，永本敏之：強角膜創圧迫を行った 2.4mm 切開白内障手術の自己閉鎖率．第 33 回日本眼科手術学会，東京，平成 22 年 1 月 22-24 日．
106. 永本敏之：安全性を求めるなら強角膜切開（モーニングセミナー「ザ・ディベート～角膜切開 VS 強角膜切開 VS 経結膜一面切開」）．第 33 回日本眼科手術学会総会，東京，平成 22 年 1 月 22-24 日．
107. 平岡智之（スキルトランスファー）：硝子体．第 33 回日本眼科手術学会総会，東京，平成 22 年 1 月 22-24 日．
108. 杉谷篤彦，岡田アナベルあやめ，山本亜希子，谷内修太郎：近視性脈絡膜新生血管に対する治療の視力成績．第 33 回日本眼科手術学会総会，東京，平成 22 年 1 月 22-24 日．
109. 井之川宗右：アレルギー性結膜炎の診断と点眼治療における注意点．武蔵野市医師会講演会，三鷹，平成 22 年 1 月 27 日．
110. 平形明人：難治性網膜剥離の治療．ルミガン新発売記念「Senju Ophthalmic Seminar in Fukuoka」眼科臨床の話題～緑内障・網膜硝子体・アレルギー～，福岡，平成 22 年 2 月 6 日．
111. 永本敏之：小児 IOL の選択と術式．第 3 回東京眼科アカデミー，東京，平成 22 年 2 月 7 日．
112. 井上真：小切開硝子体手術の適応．北海道大学眼科額教室学術講演会，札幌，平成 22 年 2 月 15 日．

113. 平形明人：糖尿病網膜症から失明を予防するために．港区医師会学術講演会，東京，平成 22 年 2 月 19 日．
114. 堀田一樹：網膜疾患を硝子体手術で治すことータンポナーデ物質を中心にー．東京歯科大第 111 回ドーナツセミナー，市川，平成 22 年 2 月 19 日．
115. 慶野博：症例討論 30 歳，女性，壊死性強膜炎の 1 例．第 2 回東京眼炎症フォーラム，東京，平成 22 年 2 月 26 日．
116. 平形明人：糖尿病後眼部合併症．東京都眼科医会平成 21 年度卒後研修会第 11 回，東京，平成 22 年 2 月 27 日．
117. 井上真：小切開硝子体手術．第 2 回瑠璃の会，前橋，平成 22 年 3 月 5 日．
118. 岡田アナベルあやめ：眼炎症疾患：最近のトピックより．第 6 回浜松眼科フォーラム，浜松，平成 22 年 3 月 5 日．
119. 井上真：MIVS 裏話．第 14 回 Tokyo Retina Club，東京，平成 22 年 3 月 6 日．
120. 平形明人：難治性網膜剥離の治療と課題．第 6 回宮城眼科先進医療研究会，仙台，平成 22 年 3 月 11 日．
121. 岡田アナベルあやめ：眼炎症疾患：最近のトピックより．淀川キリスト教病院眼科ティータイム，大阪，平成 22 年 3 月 13 日．
122. Inoue M : Macular hole closure after Vitreous Surgery for Macular Hole Retinal Detachment in Highly Myopic Eyes. Vai Vitrectomy Meeting, Colorado, USA, Mar.13-17,2010.
123. 永本敏之：ここまでの先天白内障治療（特別講演）．第 5 回多摩眼科フォーラム，東京，平成 22 年 3 月 20 日．
124. 岡田アナベルあやめ：眼炎症疾患：最近のトピックより．第 4 回東北眼科フォーラム，仙台，平成 22 年 3 月 28 日．

## II. 論文 (症例報告、総説 含む)

1. 松崎淳, 谷内修太郎, 井上真, 平形明人: Valsalva 網膜症に Nd:YAG レーザーが有効であった 1 例. 眼臨紀 2: 620-623, 2009.
2. Miyazawa A, Inoue M, Hirakata A, Okada AA, Iihara K<sup>1</sup> & Fujioka Y<sup>2</sup> (<sup>1</sup> Department of Pathology, Tokyo Kosei Nenkin Hospital, <sup>2</sup> Department of Pathology, Kyorin University School of Medicine): Expression of inhibin alpha by stromal cells of retinal angioma excised from a patient with von Hippel-Lindau disease. Jpn J Ophthalmol 53:501-505, 2009.
3. Yamamoto-Ogasawara A, Asakawa M, Yoshino K, Nagamoto T, Inoue M & Hirakata A: Anterior complications in case of recurrent acute lymphoblastic leukaemia diagnosed by biopsy of aqueous humour. Clin Exp Ophthalmol.37:739-741, 2009.
4. Inoue M, Shinoda K<sup>1</sup> & Hirakata A (<sup>1</sup>Department of Ophthalmology, Teikyo University School of Medicine): Twenty-three Gauge Cannula System with Microvitoretinal Blade Trocar. Br J Ophthalmol. 2009 (Epub ahead of print).
5. Hirakata A, Inoue M, Oshitari K, Okada AA, Nagamoto T & Tano Y<sup>1</sup> (<sup>1</sup>Department of Ophthalmology, Osaka University Medical School): Histopathological examination of internal limiting membrane surface after scraping with diamond-dusted membrane scraper. Acta Ophthalmol. 2009 (Epub ahead of print).
6. 山本亜希子, 杉谷篤彦, 岡田アナベルあやめ, 平形明人: 新生血管黄斑症に対する Bevacizumab 硝子体内投与後の一過性眼圧上昇. あたらしい眼科 26: 1421-1423, 2009.
7. 中山真紀子, 宮沢顕子, 井上真, 平形明人: 黄斑疾患の小切開硝子体手術における早期視力回復. 眼科手術 22: 539-542, 2009.
8. Hama Y, Hirakata A, Tomita K<sup>1</sup> & Inoue M (<sup>1</sup>Heiwa Eye Clinic): Retinal Detachment with Giant Oral Dialysis in an Eye with Congenital Aniridia. Jpn J Ophthalmol.54:105-107, 2010.

9. 大路正人<sup>1</sup>, 小椋祐一郎<sup>2</sup>, 坂本泰二<sup>3</sup>, 白神史雄<sup>4</sup>, 平形明人, 寺崎浩子<sup>5</sup>, 東範行<sup>6</sup>, 飯島裕幸<sup>7</sup>, 飯田知弘<sup>8</sup>, 池田恒彦<sup>9</sup>, 石橋達郎<sup>10</sup>, 岸章治<sup>11</sup>, 竹内忍<sup>12</sup>, 中澤満<sup>13</sup>, 根岸昭<sup>14</sup>, 堀貞夫<sup>15</sup>, 堀口正之<sup>16</sup>, 松村美代<sup>17</sup>, 山下英俊<sup>18</sup>, 山本修一<sup>19</sup>, 湯澤美都子<sup>20</sup>, 吉田晃敏<sup>21</sup>, 吉村長久<sup>22</sup>; 日本網膜硝子体学会 ( <sup>1</sup>滋賀医大・眼科, <sup>2</sup>名古屋市立大・眼科, <sup>3</sup>鹿児島大・眼科, <sup>4</sup>香川大・眼科, <sup>5</sup>名古屋大・眼科, <sup>6</sup>国立成育医療センター・眼科, <sup>7</sup>山梨大・眼科, <sup>8</sup>福島県立医大・眼科, <sup>9</sup>大阪医大・眼科, <sup>10</sup>九州大・眼科, <sup>11</sup>群馬大・眼科, <sup>12</sup>竹内眼科クリニック, <sup>13</sup>弘前大・眼科, <sup>14</sup>神戸大・眼科, <sup>15</sup>東京女子医大・眼科, <sup>16</sup>藤田保険衛生大・眼科, <sup>17</sup>永田眼科, <sup>18</sup>山形大・眼科, <sup>19</sup>千葉大・眼科, <sup>20</sup>駿河台日本大学病院眼科, <sup>21</sup>旭川医大・眼科, <sup>22</sup>京都大・眼科) : 眼内長期滞留ガス(SF<sub>6</sub>, C<sub>3</sub>F<sub>8</sub>)使用ガイドライン. 日眼会誌 114 : 110-115, 2010.
  
10. Taki W<sup>1</sup>, Oohira A<sup>1</sup> & Hirakata A ( <sup>1</sup>Wakaba Eye Hospital): Macular edema from distant branch retinal vein occlusion improved after vitrectomy. *Jpn J Ophthalmol.* 53:184-186, 2009.
  
11. Nagamoto T, Tanaka N, Fujiwara T: Inhibition of Posterior Capsule Opacification by a Capsular Adhesion-Preventing Ring. *Arch Ophthalmol.* 2009;127(4):471-474, 2009.
  
12. 永本敏之 : 白内障手術の進化—ここ 10 年余りの変遷. あたらしい眼科 26(8):1007 - 1008, 2009.
  
13. 永本敏之 : 水晶体亜脱臼の手術-③水晶体全摘出術を用いた方法. *IOL&RS* 23:485-488, 2009.
  
14. Herbort CP<sup>1</sup>, Rao NA<sup>2</sup>, Mochizuki M<sup>3</sup> ( <sup>1</sup>University of Lausanne, <sup>2</sup>Doheny Eye Institute, Keck School of Medicine, The University of Southern California, <sup>3</sup>Department of Ophthalmology & Visual Science, Tokyo Medical & Dental University Graduate School) and members of Scientific Committee of First International Workshop on Ocular Sarcoidosis (IWOS), (including Okada AA): International criteria for the diagnosis of ocular sarcoidosis: results of the first international workshop on ocular sarcoidosis (IWOS). *Ocul Immunol Inflamm* 17:160-169, 2009.
  
15. Yamaoka S, Okada AA, Sugahara M & Hida T: Clinical features of polypoidal choroidal vasculopathy and natural history in the absence of classic choroidal neovascularization. *Ophthalmologica* 224:147-152, 2009.

16. Rao NA<sup>1</sup>, Gupta A<sup>2</sup>, Dustin L<sup>1</sup>, Chee SP<sup>3</sup>, Okada AA, Khairallah M<sup>4</sup>, Bodaghi B<sup>5</sup>, Lehoang P<sup>5</sup>, Accorinti M<sup>6</sup>, Mochizuki M<sup>7</sup>, Prabripitaloong T<sup>8</sup> & Read RW<sup>10</sup> (<sup>1</sup> Doheny Eye Institute and Department of Ophthalmology, <sup>2</sup> Department of Ophthalmology, Postgraduate Institute of Medical Education and Research, <sup>3</sup> Singapore National Eye Center, Department of Ophthalmology, Yong Loo School of Medicine, National University of Singapore, <sup>4</sup> Department of Ophthalmology, Fattouma Bourguiba University Hospital, <sup>5</sup> Department of Ophthalmology, AP-HP, University of Paris 1V, <sup>6</sup> Department of Ophthalmology, University of Rome, Rome, <sup>7</sup> Department of Ophthalmology and Visual Sciences, Tokyo Medical and Dental University, <sup>8</sup> Ramathibodi Hospital, <sup>9</sup> Departments of Ophthalmology and Pathology, University of Alabama at Birmingham): Frequency of distinguishing clinical features in Vogt-Koyanagi-Harada disease. *Ophthalmology* 117:591-599, 2010.
17. 渡辺交世, 永本敏之 : スリットランプを使った前・後嚢下白内障の術前診断. *IOL&RS* 23:3-7, 2009.
18. 松木奈央子, 石綿丈嗣, 永本敏之 : 電動マッサージ器による外傷性白内障の1例. *眼科臨床紀要* 2(9):795-798, 2009.
19. Shigeyasu C, Imamura Y, Ishida S, Tsubota K, Inoue M. Simultaneous use of intravitreal viscoelastics and perfluorocarbon liquid during vitrectomy for severe globe rupture. *Retinal Cases & Brief Reports* 3:305-307, 2009.
20. Noda E, Inoue M, Kobayashi I, Nagamoto T: Perforating Eyelid Injury that Extended to Brain Stem. *Journal of Medical Case Reports* 2010, **4**:18 (21 January 2010).
21. Inoue M, Bissen-Miyajima H, Yoshino M, Suzuki T: Wavy horizontal artifacts caused by multifocal diffractive intraocular lenses in optical coherence tomography line scanning images *J Cataract Ref Surg* 35(7):1239-43, 2009.
22. Sugisaka E, Shinoda K, Sano RY, Ishida S, Imamura Y, Ozawa Y, Shinoda H, Suzuki K, Tsubota K, Inoue M: Mechanism of Patients' Visual Sensations Experienced during Pars Plana Vitrectomy under Retrobulbar Anesthesia. *Ophthalmologica* 224(2):103-108, 2009.

23. Kurihara T, Ohde H, Inoue M, Ogata M, Shinoda K, Tsubota K: Bilateral acute functional disturbance in the retina following placental abruption. *Jpn J Ophthalmol* Nov;53(6):663-5, 2009.
24. Yamamoto-Ogasawara A, Asakawa M, Yoshino K, Nagamoto T, Inoue M, Hirakata A : Anterior complications in case of recurrent acute lymphoblastic leukemia diagnosed by biopsy of aqueous humor. *Clin Exp Ophthalmol* 37(7):739-41, 2009.
25. Ideta S, Noda M, Kawamura R, Shinoda K, Suzuki K, Ishida S, Inoue M: Dehiscence of Levator Aponeurosis in Ptosis after Subtenon Injection of Triamcinolone Acetonide. *Can J Ophthalmol* 44(6):668-72, 2009.
26. Hama Y, Hirakata A, Tomita K, Inoue M: Retinal Detachment with Giant Oral Dialysis in Eye with Congenital Aniridia. *Jpn J Ophthalmol* 54(1):105-7, 2010.
27. Yuki K, Inoue M, Shiba D, Kawamura R, Ishida S, Ohtake Y: Selective Laser Trabeculoplasty for Elevated Intraocular Pressure following Subtenon Injection of Triamcinolone Acetonide. *Clin Ophthalmol* 2010.4 (30 March 2010).
28. 松木奈央子, 忍足和浩, 井上真, 平形明人, 前川 傑<sup>1</sup> (<sup>1</sup>杏林大・医・病理学): 印環細胞を有する眼窩腫瘍の一例. *眼科* 51:1809-1815, 2009.
29. 山光智子, 篠田肇, 川村亮介, 木村肇二郎, 井上真. 小切開硝子体手術に空気タンポナーデを使用した黄斑円孔手術. *眼科臨床紀要* 2(7):609-612, 2009.
30. Levinson RD<sup>1</sup>, Okada AA, Ashouri E<sup>2</sup>, Keino H & Rajalingam R<sup>2</sup> (<sup>1</sup>Ocular Inflammatory Disease Center, Jules Stein Eye Institute, David Geffen School of Medicine at UCLA, University of California, <sup>2</sup>UCLA Immunogenetics Center, Department of Pathology and Laboratory Medicine, David Geffen School of Medicine at UCLA, University of California): Killer cell immunoglobulin-like receptor gene-cluster *3DS1-2DL5-2DS1-2DS5* predisposes susceptibility to Vogt-Koyanagi-Harada disease in Japanese individuals. *Hum Immunol* 71:192-194, 2010.
31. Keino H, Nakashima C, Watanabe T, Taki W, Hayakawa R, Sugitani A & Okada AA: Frequency and clinical features of intraocular inflammation in Tokyo. *Clin Exp Ophthalmol* 37:595-601, 2009.

32. Vega JL, Keino H & Masli S: Surgical denervation of ocular sympathetic afferents decreases local transforming growth factor-beta and abolishes immune privilege Am J Pathol. 175:1218-25, 2009.
33. Okada AA, Keino H, Watanabe T, Taki W & Hayakawa R: Recurrence of acute anterior inflammation after intravitreal injection of bevacizumab in uveitis. Jpn J Ophthalmol 53:182-184, 2009.
34. Watanabe T, Keino H, Sato K<sup>1</sup>, Kudo A<sup>2</sup>, Kawakami H<sup>2</sup> & Okada AA (<sup>1</sup>Division of Radioisotope Research, Kyorin Univ., <sup>2</sup>Anatomy, Kyorin Univ.): High mobility group box 1 (HMGB-1) in experimental autoimmune uveoretinitis. Invest Ophthalmol Vis Sci 50:2283-2290, 2009.
35. 慶野博: 特集 ぶどう膜炎アップデート 4. ベーチェット病に対するインフリキシマブ療法 眼科 51:873-80, 2009.
36. Suzuki Y, Nishina S, Hiraoka M, Yokoi T, Azuma N :Congenital Rotated Macula with Good Vision and Binocular Function. Jpn J Ophthalmol 53:452-454,2009.
37. 吉野啓:ぶどう膜炎に続発する緑内障はこう治す. あたらしい眼科 26 : 311-315, 2009.
38. 北澤克明, KP2035 共同試験グループ (吉野啓含む) : 原発開放隅角緑内障および高眼圧症患者を対象としたラタノプロスト・チモロール配合剤 (KP2035) の第Ⅲ相二重盲検比較試験. 臨床眼科 63 : 807-815, 2009.
39. 堀江大介, 稲見達也, 栗原崇, 吉野啓 : 視神経部分低形成の7例. 臨床眼科 63 : 1475-1480, 2009.
40. Akiko Yamamoto-Ogasawara, Manabu Asakawa, Kei Yoshino, Toshiyuki Nagamoto, Makoto Inoue, Akito Hirakata. Anterior complications in case of recurrent acute lymphoblastic leukemia diagnosed by biopsy of aqueous humour. Journal complication:739-741,2009.
41. Ruster C, Bondeva T, Franke S, Tanaka N, Yamamoto H : Gunter Wolf. Angiotensin II upregulates RAGE expression on podocytes: Role of AT2 receptors. *American Journal of Nephrology* 29:538-550, 2009.
42. 気賀沢一輝, 坂口真<sup>1</sup> (<sup>1</sup>静岡市) : 専門医療とプライマリケアにおける医師と患者—ロービジョンケアにおける Narrative-Based Medicine (NBM) の役割とその担い手について—. 日本ロービジョン学会誌 9 : 41-46, 2009.

43. 気賀沢一輝：ベルクソンの笑いとその展開．最新精神医学 81：59-66，2010．
44. 山添克弥，横田怜二，横山恭典，堀田順子，堀田一樹：神経線維腫症 1 型に網膜色素変性症を合併した姉弟例．臨床眼科 63：1623-1629，2009．
  
45. 井上亮，江本宜暢，横山恭典，堀田順子，堀田一樹：巨大視神経乳頭と裂孔原性網膜剥離を伴った Noonan 症候群の一例．眼科手術 23：291-295，2010．

### Ⅲ. 著書

1. 平形明人：糖尿病網膜症における抗癌剤アバスチン®の効用．分子糖尿病学の進歩 2009 基礎から臨床まで．矢崎義雄監．東京，金原出版，2009． p. 138-145.
2. 平岡智之，平形明人：網膜剥離．からだの科学 263 気になる眼の病気のすべて．坪田一男編．東京，日本評論社，2009． p. 89-93.
3. 田中伸茂，平形明人：ガスタンポナーデ．眼科プラクティス 30．理にかなった網膜復位術．田野保雄，大路正人編．東京，文光堂，2009． p. 182-185.
4. 平形明人：乳頭ピット黄斑症候群と朝顔症候群．眼科プラクティス 30．理にかなった網膜復位術．田野保雄，大路正人編．東京，文光堂，2009． p. 309-311.
5. 平形明人：脈絡膜欠損．眼科プラクティス 30．理にかなった網膜復位術．田野保雄，大路正人編．東京，文光堂，2009． p. 318-320.
6. 平形明人：第 62 回日本臨眼学会印象記 一般口演「網膜・硝子体疾患」．眼科 51．東京，金原出版，2010． p. 543-544.
7. 平形明人：続 他科医に聞きたいちょっとしたこと (II) 糖尿病網膜症について．クリニシアン 56．東京，エーザイ株式会社，2009． p. 60-63.
8. 平形明人：TheOpinion 教室運営にあたって．銀海 208．大阪，千寿製薬株式会社，2009． p. 14.
9. 平形明人：第 63 回日本臨床眼科学会印象記 一般口演「変性近視 (1)」．眼科 52．東京，金原出版，2010． p. 493-494.
10. 平形明人：眼のかすみ：鑑別診断の基本戦略．あたらしい眼科 27．東京，メディカル葵出版，2010． p. 141-149.
11. 田中恵津子：理解を深めよう視野検査．松本長太監．東京，金原出版，2009.
12. 永本敏之：フェイコ以外での対処 (チン小帯の脆弱性が高度な症例)． p79-86，ごく小さな核片だけが残っている時点以降の後囊破損． P136-146、白内障術中トラブルとりカバリーの基本．常岡寛，永本敏之，徳田芳浩編．東京，中山書店，2009.

13. 永本敏之：麻酔. P11-17, 切開. P21-42, CCC. P45-62, ハイドロダイセクション・ハイドロデリニエーション. p65-72, 核落下. P113-115, 眼内レンズ縫着. P117-120, 浅前房化・前房動揺. P129-131, アトピー白内障. P183-185, 後極白内障・後部円錐水晶体・anterior PHPV. P187-189, 成熟・過熱・膨潤白内障. P191-197, 永本敏之, 黒坂大次郎, 常岡寛, 徳田芳浩編. 東京, 銀海舎, 2009.
14. 永本敏之：白内障—いざというときの飛道具をそろえよう. 新眼科レジデント・戦略ガイド. 坪田一男, 大橋裕一編. 東京, 診断と治療社, 2010. P288-294.
15. 高橋寛二, 岡田アナベルあやめ：AMD：どこまで治療できる. 日眼会誌 113. 東京, 日本眼科学会, 2009. p. 121.
16. 岡田アナベルあやめ：ワンポイントアドバイス 硝子体内注射(解説). 眼科手術 22. 東京, 日本眼科手術学会, 2009. p. 62-64.
17. 山本哲也, 岡田アナベルあやめ：続発緑内障は変わった!. 新しい眼科 26. 東京, メディカル葵出版, 2009. p. 283-284.
18. 井上真：6. 眼底検査. 研修で学ぶべき検査技術と知識. 眼科検査と, その手順(機能検査). 研修医ノート. 診断と治療社, 2009, p120-124.
19. 井上真：予防的全周光凝固の是非. 眼科プラクティス 26 巻. 文光堂, 2009, p165.
20. 井上真：2) 双眼倒像鏡レーザー. 外科的網膜治療に用いるレーザー. 2. 外科的網膜治療眼科プラクティス 26 巻. 文光堂, 2009, p158-161.
21. 井上真：眼底(網膜脈絡膜)疾患 56「55 歳男性です。近視でも乱視でもないのに, この頃, 物が歪んで見えるときがあります。どうしてでしょうか?」。眼科疾患 100 の質問. メディカルレビュー社, 2009, p140-141.
22. 井上 真：眼底(網膜脈絡膜)疾患 57「黄斑前膜は手術をすれば元通りになりますか?」。眼科疾患 100 の質問. メディカルレビュー社, 2009, p142-143.
23. 井上真：「自己閉鎖のためのコツは?」眼科インストラクションコース 20. 眼科診療のスキルアップ 網膜硝子体編, メジカルビュー社, 2009, p192-195.
24. 井上真：インフォームドコンセントの考え方. 第 2 章 教えてくれない医事の常識. 新眼科レジデント戦略ガイド. 診断と治療社, 2009, p192-197.

25. 井上真：眼底と眼底三次元検査．眼科ではどんな検査をしているのか．特集「気になる目の病気のすべて」．からだの科学，日本評論社，2009，p263.
26. 井上真：バックリングにおけるガスタンポナーデ．Fish mouth と対策．理に適った網膜剥離手術．眼科プラクティス．文光堂，2010，p137.
27. 井上真：ガス注入法と追加ガスタンポナーデ．バックル手術．理に適った網膜剥離手術．眼科プラクティス．文光堂，2010，p138.
28. 井上真：ガス注入法と追加ガスタンポナーデ．硝子体手術．理に適った網膜剥離手術．眼科プラクティス．文光堂，2010，p205.
29. 平岡智之：病棟編．眼科ナーシングプラクティス．坪田一男編．東京，文光堂，2009.
30. 平岡智之、平形明人：失明につながる目の病気とその治療 網膜剥離．からだの科学．坪田一男編．東京，日本評論社，2009．89-93.
31. 井之川宗右（分担執筆）：角膜感染症．眼科ナーシングプラクティス第2版．田野、平山、樋田、他編．東京，文光堂，2009．p 168-169.

#### IV. その他

1. 平形明人：脈絡膜上経網膜電気刺激（STS）法による人工視覚システムの臨床応用．平成 21 年度 厚生労働省科学研究費補助金（感覚器障害研究事業）分担研究報告書．
2. 慶野博：文部科学省 科学研究費補助金 若手研究 B 平成 21 年度．レチノイン酸を用いた自己免疫性眼炎症疾患の抑制の試み．
3. 吉野啓：待合くん・眼科領域シリーズ「緑内障」．ラジオ NIKKEI．
4. 千嶋淳子，江本宜暢：網膜ドルーゼン．臨床眼科 63：857，2009．